

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業				事業番号	014-050	
担当部署名	こども青少年局	局	こども青少年育成部	部	こども家庭課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(5)厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実	
			有	取組の方向性	①ひとり親家庭などへの支援			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
			無	取組	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市こども計画		
3	事業開始年度	平成 16 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	母子及び父子並びに寡婦福祉法		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区		
6	事業の対象	ひとり親家庭の父母、寡婦（以下「ひとり親家庭等」という。）で疾病等の事由から一時的に家事困難な世帯で利用を希望する者	対象数	単位
			-	-
7	事業の目的	ひとり親家庭等が自立するために必要な事由や疾病などの事由により、一時的に生活援助が必要な場合に、家庭生活支援員を派遣し、生活の安定と自立の促進に寄与し、母子家庭等の福祉の増進を図る。		
8	事業内容	ひとり親家庭等が技能習得のための通学、就職活動等自立促進に必要な事由や疾病等から、一時的に生活援助が必要な場合に、堺市に登録した事業所から家庭生活支援員を派遣し、生活援助を行う。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	公益社団法人 堺市シルバー人材センター、一般財団法人 堺市母子寡婦福祉会、特定非営利活動法人 モモの木		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	家庭生活支援員の派遣により、ひとり親家庭等の生活の安定を図るためその生活を支援する						
	当該目標を設定した理由	ひとり親家庭等の生活の安定や自立の支援のために生活援助は欠かせないものであり、特に、疾病や就業のための技能習得、生活環境が激変した際の支援が重要なものであるから					
	目標に対する実績	生活の安定を図るための生活支援を行っている。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	派遣延べ回数	回	目標値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			実績値	33	252		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	本事業は生活に支障のあるひとり親家庭等に対し家事サービス等を行うものであり、派遣回数がひとり親家庭等への支援に直結するため					
	目標値の設定根拠・算出方法	派遣回数（派遣回数の増加が目標ではないため、目標値は設定しない）					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	ひとり親家庭等日常生活支援事業	事業番号	014-050
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	153	190	1,342	2,436	2,702
	財 国支出金	73	95	667	1,200	1,347
	源 府支出金	0	0	0	0	0
	内 市債	0	0	0	0	0
	記 その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	6	0	7	35	7
	一般財源	74	95	668	1,201	1,348
14	人件費（b）	810	810	840	840	870
15	年間経費（c）=(a)+(b)	963	1,000	2,182	3,276	3,572

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	委託料	決算	予算	2,436	1,201		決算	予算		
				2,702	1,348					
		決算	予算				決算	予算		
		決算	予算				決算	予算		
		決算	予算				決算	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	①	派遣回数	人	33	252
	②	上記①にかかる年間経費	千円	1,000	3,276
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	30,303	13,000
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	現に生活に支障があるひとり親家庭等に対する生活援助について、業務を効率的に実施できた。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	ひとり親家庭等の経済的安定に向けた支援に寄与する取組として、離婚後間もないひとり親や疾病等社会生活に支障をきたすひとり親家庭等の生活安定のための支援を実施している。自立促進には、現在の生活の安定が不可欠であるため、一時的に家事援助が必要な家庭に対しサービスを提供している。家庭生活に支障をきたすひとり親家庭等の支援にますます寄与するものと期待される。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	本事業は、ひとり親家庭等の一時的な生活支援ニーズに対応し、生活の安定と自立の促進に寄与するものである。令和3年度以降も一定の利用実績があり、有効性が認められる。ひとり親家庭等は、就労と子育てを一人で担う中で疾病や突発的な事情により生活に支障をきたすリスクが高く、こうした状況を踏まえると、本事業の必要性は高く、今後も継続的な支援が求められる。
	有効性	■ 高い □ 低い	